
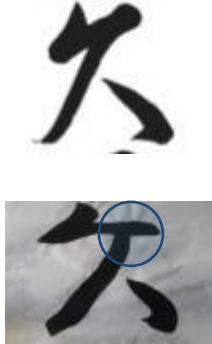
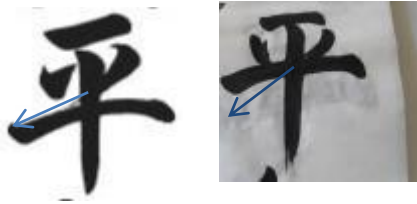




審査を終えて（中学校の部）

令和2年1月25日 本部書写委員会

| 学年 | 誦句 | 審査員からのコメント | | |
|-----------|------------------|------------|--|---|
| 中学校 一年 | 永 久 平 和 | 永 | <p>① 3～4画の呼応と5画目「はらい」の筆使い</p> <p>△3画目の左払いの先が斜め下に向かっていて、4画目に連続していかないものが多くありました。</p> <p>・左払いの先端で筆を止め、次の画に向かって軽く跳ね出します。「α」を書くつもりで筆を動かしましょう。</p> <p>△5画目の右払いが楷書のようにしっかりと払い出しているものが多く見られました。払いの部分は穂先をまとめながら軽く止め、左下へ折り返すように筆を動かすとよいです。</p> |  <p>△左払いが斜め下に向かっていて4画目に向かっていない。</p> <p>△右払いが楷書のように抜いている。</p> |
| | | 久 | <p>② 1～2画の連続と2～3画の呼応</p> <p>○1～2画目の連続はよくできていましたが、戻しすぎたり、一度離してあらためて書いたりしてように見えるものがありました。</p> <p>△2～3画目の呼応について、左払い部分は「永」の左払いと共通の傾向が見られます。3画目は、左払いを書いたら「α」を書く動きでそのまま一気に3画目に入ります。そのため3画目の起筆はとがった形になります。</p> |  <p>△写真上：2～3画が呼応していない。</p> <p>△写真左：横画と左払いが連続していない。</p> |
| | | 平 | <p>③ 2～3画の呼応と文字の中心</p> <p>○2～3画目の呼応は、よくできていました。片仮名の「ソ」を連続させる感じで書くとよいです。</p> <p>○中心についてもよくできていました。収筆の「抜く」部分も慎重に書いている作品が多く見られました。</p> |  <p>△右の作品、2～3画の連続はできています。左のように4画目に続く動きが出るとさらによいです。</p> |
| | | 和 | <p>④ 5画目の省略による変化と7～8画の連続する筆使い</p> <p>○4～5画目の省略はほぼできていましたが、つくりの「口」に向かって払い上げるところが「止め」になっているものがありました。片仮名の「レ」を斜めにして感じで書くとよいです。</p> <p>△7～8画の連続で、最終画を書く際に一度筆を離して、片仮名の「マ」のように書いているように見えるものが多数ありました。「2」あるいは「z」を書くつもりで書くとよいです。</p> |  <p>△のぎへの最終画が止めになっている。</p> <p>△「口」の部分の最終画を一度離して書いている（ように見える）。</p> |

| 学年 | 語句 | 審査員からのコメント | |
|-------------------|----|---|---|
| 中学校 二年 温故知新 | 温 | <p>① 2～3画の連続と「皿」の縦画の連続感</p> <p>○ 2～3画の連続はおおむねできていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「皿」の縦画は筆の動きが自然に次の画につながるように書くと連続間が表れます。 ・ また、縦画が等間隔で下がやや狭いと形が整います。 |  <p>△ 次の画へのつながりが見られない。</p> <p>○ 次の画へのつながりがある。</p> <p>△ 縦画が等間隔でない。</p> |
| | 故 | <p>② 4～5画の連続と8～9画の呼应</p> <p>△ 4～5画が連続しておらず、筆をつき直してカタカナの「マ」のようにしているものがありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8画目は左斜め下にまっすぐ払うのではなく、丸みをおびてやや上に向かって払い9画目の始筆に入るとよいでしょう。9画目は上にそらせるような形にして、1, 2, 3のリズムで止めます。 |  <p>△ 楷書のように書いている。</p> <p>○ 8～9画が点線でつながる。</p> <p>△ 9画目へつながらない。</p> |
| | 知 | <p>③ 2～3画の連続感と「へん」と「つくり」の組み立て</p> <p>△ 2～3画へのつながりがあまり見られない作品が多かったです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4画目の払いの方向は5画目へ自然につながるよう大きく円を描くつもりで筆を動かすとよいでしょう。5画目の位置が下がりすぎると、バランスが悪くなります。また「口」の最終画はカタカナの「マ」のように下がるのではなく、数字の「2」を書くような感じで横に引くと字形が整います。 |  <p>△ 4～5画につながらない。</p> <p>○ 「2」のように最終画を横に引く。</p> <p>△ 「マ」のようになっている。</p> |
| | 新 | <p>④ 9画目の省略による変化と10～12画の連続感</p> <p>○ 8～9画の省略は概ねできていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9画目は止めずに、つくりの上部に向かって右斜め上にはねるように書くと更によくくなります。 ・ 10～12画は一気に書きます。10～11画がつながるように、11画の終筆で止まったらそのまま上に戻るような感じで、12画の始筆に入るとよいでしょう。また、12画を右から左に書いている作品が見受けられました。筆順や筆の動きを指で確認してから書くとよいでしょう。 |  <p>△ 10～11画がつながらない。</p> |

| 学年 | 語句 | 審査員からのコメント | |
|-----------|------------------|------------|--|
| 中学校 三年 | 神 秘 探 究 | 神 | <p>①「ㇿ」の筆順・形の変化と「へん」から「つくり」への連続感</p> <p>△昨年よりは減ったものの、「へん」から「つくり」に連続するとき止まってしまう作品がまだ見られました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3画目を2画目の折れの近くから書くとよいでしょう。  |
| | | | 秘 |
| | | 探 | |
| | | | 究 |

神
秘
探
究

① 全体のまとめり・筆勢について

○名前も含めて、筆勢の感じられる作品が多かったです。

○名前が適切な位置に書かれている作品が多かったです。

○よく書き込み、練習している作品が多かったです。

(2年)

△紙の汚れや墨色、名前の位置などにも気を付けて書いてほしいです。

△字形は大体整っているが、行書の書き方にまだ慣れておらず、ポイントを外している作品がみられました。

(1年)

△紙の汚れや墨色、名前の位置などにも気を付けて書いてほしいです。

△連続した線でなくても、つながる気持ち(気脈)に気をつけて書けるとよいです。

・「永・久」の左右の払いや「和」の「口」の部分など、行書の筆の動きが見えにくいところは、YOUTUBEの動画を是非御覧になってください。※「上国連」「書き初め」で検索。デジタル教材や教材研究用として御活用ください。

<全体を通して>

・敷き写しがほとんどなくてよかったです。

(1年)

・不慣れではあるが、観点に沿って書こうとしている作品の割合が増えてきている感じがしました。

(1年)

・紙の汚れが目立つものがありました。作品を丁寧に扱うようにしてほしいです。

(2年)

・墨色まで気を遣うと更に作品が引き立つと思われるものがありました。

(2年)

・せっかくの出品作品ですので、校印も丁寧に押してほしいです。

・敷き写しや骨字、籠字、二度書きなど、作品として不正なものが、例年に比べて少なかったものの、ありました。敷き写しは練習の段階でやるのはよいと思いますが、作品として出品されても、自力での作品ではないために審査できません。冬休みの宿題で、家で書く時に敷き写した作品を生徒が提出し、教科担任の先生がよく確認しないで出品してしまったという事例がありました。中には、手本を拡大コピーして敷き写していると思われる作品もあります。審査側としても非常に心苦しいのですが、これらの作品については無印の対応としています。出品前に、手本に作品を重ねてみたり、手本を横に置いて確認したりし、作品として正しいものを出品するよう、御協力をお願いいたします。